



新たな年となりました。今年もひきつづき災害にまつわる情報などをみなさまにお伝えしてまいります「災対瓦版」。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

「統括 DMAT」研修に行ってきました

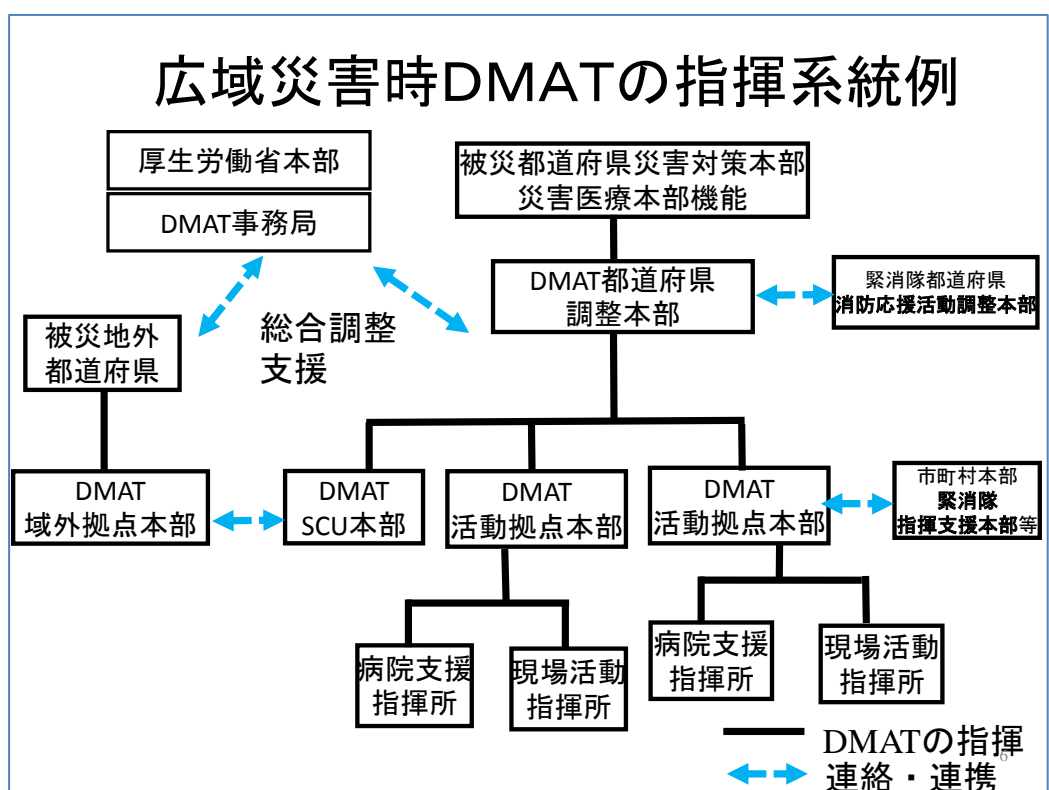
DMATは通常、医師・看護師・業務調整員(ロジ)の4-5名の小さなチームで構成されており、それぞれが完結されたひとつのチームとして活動します。しかし、大規模災害時などで DMAT が何隊も参集した場合、それらを組織化して情報を共有し、有機的に機能させなければ、単なる烏合の衆となってしまいます。このため、DMAT 資格をもった医師の中から「統括 DMAT」が認定され、「本部長」として活動することになっています。本部長は、県庁や各病院、さらには現場など、さまざま場所に設置された「活動拠点本部」において、DMAT の指揮、調整、支援業務を行うこととなります。今回、年に一度の統括 DMAT 研修が開催され、お手伝いに参加してきました。



日時:平成 28 年 1 月 12 日(火)13 日(水)
場所:国立病院機構災害医療センター(立川市)
受講者:全国から医師 102 名(うち徳島 2 名)
インストラ:76 名

会場のある立川(たちかわ)市は、東京都心から西 30km に位置する東京三多摩地区 400 万人の中心的な都市です。市内には、首都直下地震などで首都機能が破綻した場合に首相官邸や内閣府、国会などが設置可能な「立川広域防災基地」があり、他にも自衛隊や米軍、警察、消防などの中枢機能を補完する機能が用意されるなど、平時から災害対応のメッカともいべき防災都市です。災害医療センターも国の災害医療の中心を担っており、院内におかれた厚生労働省の DMAT 事務局は、東日本大震災でも全国 DMAT の総司令部の役割を果たしました。

訓練は二日間に渡り開催されましたが、受講者 102 名はいずれも普段から



救急医療や災害医療に従事したことがあるベテラン Dr.が多く、最近の成人教育の手法どおり、座学は最小限で多くがシミュレーションに当てられました。

「局地災害」では、高速バス事故や列車脱線事故などにおいて、現地対策本部設置時の方法や手順、注意点などを学びます。

「都道府県調整本部」では被災した地域の県庁内に設置された DMAT 調整本部の統括者として、被災内全体をいかに把握して、どの病院にどれだけの DMAT 隊を送るべきなのか、情報を収集しながら決断していく訓練が行われました。電話をかけても繋がらない、重要でない情報が入ってくる、DMAT に馴染みのない病院長と対応する、などの困難に遭遇しながら、ニーズを把握し限られた医療資源を有効に使う訓練は何度行っても難しいものでした。

「受援病院」では、「被災した自分の病院に DMAT が多数やってくる」という設定で、派遣されてきた DMAT に何をどう依頼しつつ院内体制を構築し、入院患者の避難や外来に押し寄せた傷病者の対応を進めていく訓練が行われました。

他にも毎年バージョンアップされた訓練が多数あり、自分自身の知識をブラッシュアップしていく必要があると実感しました。



重要なこと/気づいたこと(まとめ)

- ・ 本部機能が破綻すると、作戦全体が破綻する。
- ・ 「本部が混乱している」とは、「本部長の『頭の中』が混乱している」ということ。頭の中を整理するために、ホワイトボードで情報を整理し、周りの人間(副本部長など)が取捨選択した情報のみを本部長にあげることが重要。
- ・ 本部では情報の管理がキモ。本部長は電話や連絡の内容を必ずクロノロに伝える。クロノロは時系列でホワイトボードに情報内容を記載する。
- ・ 情報収集するときは、通信手段だけでなく実際に人を派遣しての情報収集が結局役立つ/大切。
- ・ ホワイトボードで情報管理する練習を普段からしておくこと。
- ・ 情報の発信元は「テレビ」「ラジオ」などもありうる。収集できる体制を整えておくこと。
- ・ 情報収集のためにロジスティック(業務調整員)の能力を向上させることが重要。東日本大震災を踏まえ、ロジスティックチームの研修が始まっている。
- ・ 資源集中の矛盾とは、ニーズの多いところに資源を集中したい、しかし情報を取るためには資源を分散したい
 - 「資源を分散し、情報を取りながら、少ない情報の中でニーズの高い場所を判断し、資源を集中」することが求められる。作戦は simple is best。



アクションカード説明会

約1年にわたって災対委員会で検討してきた「アクションカード」ですが、このたび最初のものが完成しました。今後も訓練を通じて繰り返し改訂作業を行っていきます。つきましては、院内の皆様にも、アクションカードがどのようなものか理解していただくために、勉強会を開催します。どちらも同じ内容ですので、どちらかご都合のいい日にご参加をお願いします。

日時:平成 28 年 2 月 24 日(水)、25 日(木) 17:30~(30 分程度)

場所:2 階研修ホール